

ジェイアールバス東北本部

第31号

2020年6月5日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

申9号「2020年度夏季手当等に関する申し入れ」

について趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は、2020年6月5日、申9号「2020年度夏季手当等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

【組合】

- 不特定多数のお客さまを乗車させて乗務している中、コロナウイルスに感染するかもしれないという不安を抱えながら業務に就いている。そうした組合員・社員の労をねぎらう為にも満額回答を要求する。
- 今後コロナウイルスが終息して、運休・休止路線が再開していく中で、この難局を乗り越えて行くためにも社員のモチベーションを上げていく必要がある。
- 古川営業所の移管等、この間、様々な会社の施策に最大限協力し、バス東北会社の発展に寄与してきた。コロナウイルス感染症の拡大は外的要因であり、過去に最高利益を上げた中でも会社は我々に還元してこなかった。今こそ、その原資を我々に還元するべきである。
- ボーナスは生活給の一部になっている現状がある。組合員・社員は、休業等で収入が減り、休校などの影響で食費や光熱費が増加し不安を抱えており、夏季手当に期待している。
- 新型コロナウイルスの影響がなければ黒字の予定であり、列車代行や西日本ジェイアールバスへの出向等で会社施策に協力してきた組合員・社員の労に報いるべきである。
- 他社も厳しいのは理解しているが、昨年 of 年末手当やベアゼロでも組合員・社員は我慢してきた。苦難を乗り越えるためにも経営が厳しいと言うだけでなく、コロナ後を見据えてモチベーションを上げるためにも社員に還元するべきである。

【会社】

- 趣旨は承った。
- 非常に厳しい会社経営の中で要求は理解した。経営が厳しい事も理解して欲しい。
- 4月単月では収支計画に対し、-2億5千万の赤字であり、この状況が12ヶ月続くと単純計算で-30億という数字になる。少しずつ回復はしてくると思うが、今後の見通しもたたない状況である。
- 高速路線を再開しても、すぐに元の輸送人員には当面戻らない。他社も順次再開してきており、インバウンドも期待できない状況である。
- 同業他社も状況は同じであり、世間相場も考慮しなければならない。
- JR東日本の回答も出ていないので、以上を踏まえて今後検討していく。

**満額獲得へ向けて全分会・全組合員から
更なる現実の声をあげよう！！**